

11月15日(日)大田区総合防災訓練(風水害編)を志茂田小学校で実施します。(一般参加不可)

本来であれば多くの皆様にご参加いただきたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対象者を限定して実施します。このチラシは、訓練に参加いただけない方にも風水害に対する防災力を高めてもらうために作成しました。是非、風水害対策の参考にしてください。



風水害に備えましょう!

総合防災訓練自宅学習用資料

1 六郷地区の水害リスクを知り避難方法を確認しましょう

六郷地区は、多摩川に面し、自然を身近に感じることができる環境が特徴です。一方で、その地理的要因や低地部に位置していることから多摩川の氾濫や高潮被害という自然災害のリスクが高いという特徴もあわせ持ちます。

この豊かな自然と共に生活していくために、まずは六郷地区の水害リスクを知り、避難方法を確認しましょう!



ステップ① ハザードマップで自宅の浸水想定等を知る

まずは、8月に皆様のお宅にお届けした大田区ハザードマップ(風水害編)で浸水想定などご自宅や周辺の水害リスクを確認しましょう。

8月に全世帯に配布しました



想定最大規模の被害想定



もっと詳しい水の深さが知りたい!!

そんな皆様のために....

多摩川が氾濫した場合の「詳細な水の深さ」や「堤防が決壊してから水が到達するまでの時間」を知りたい場合は、下のアプリ等で確認することができます。是非、この機会に確認してみてください★

東京都防災アプリ



詳細な水の深さを
知りたい!

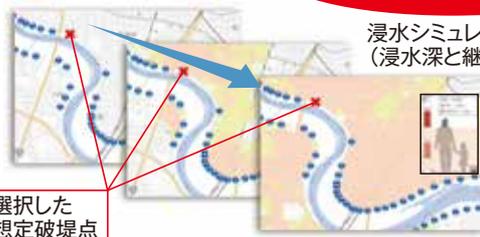


Android



iOS

浸水ナビ



選択した
想定破堤点

浸水が広がる様子をアニメーションで表示

堤防が決壊してから水が到達するまでの時間を知りたい。

浸水シミュレーショングラフ
(浸水深と継続時間)



ステップ② フローチャートでご自身の避難方法を確認しましょう。

ご自宅の水害リスクを確認したら、フローチャートで避難方法を確認してみましょう。



自宅以外の場所へ水平避難が必要な場所にお住いの皆様へ(分散避難にご協力をお願いします。)

現在、新型コロナウイルス感染症の影響が続いています。このような状況で、災害が発生した場合、区が開設する水害時緊急避難場所には多くの方が避難することが予想され、感染症拡大のリスクが高まります。そのため、可能な限り、**分散避難**にご協力をよろしくお願いいたします。

避難先の検討

1. 親戚や知人の家に避難できないか検討しましょう。
2. 親戚や知人の家に避難できない場合 → ホテル等の宿泊施設なども検討しましょう。
3. ご自身で避難先を確保できない場合 → 水害時緊急避難場所に避難しましょう。
(場所は大田区ハザードマップ(風水害編)で確認)



はねびよん
©大田区

2 台風・大雨に備えて日頃から準備しておくこと

ステップ① 浸水から家を守るための準備

排水溝や雨水ますがごみで詰まると大雨が降ったときに家の中に水が入ってくる原因となります。また、家のベランダや窓ガラス、屋根などの点検ポイントを確認しましょう。

家屋点検のポイント

窓ガラス

→ ひび割れ、破損、ぐらつきがないか確認する

雨どい

→ 落ち葉で詰まっていないか確認する

屋根

→ かわらやトタンのひび割れ、ずれをなくす
→ アンテナをしっかりと固定する

ベランダ

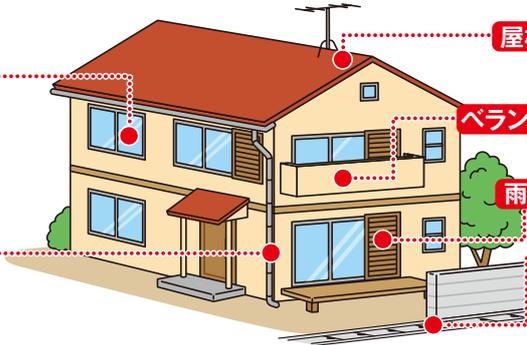
→ 排水溝を掃除する
→ 風で飛ばされそうなものはしまう

雨戸

→ がたつきがないように補強する

排水溝や雨水ます

→ 物やゴミでふさがっていないか確認する



ステップ② 飲食料品や生活用品の家庭内備蓄・非常持出品の準備

災害が発生した場合、停電や断水など長期間に渡ってライフラインが停止する可能性があります。

ここでは自宅で居住を継続するために、備蓄しておきたい飲食料品や生活用品、また、万が一、自宅以外に避難が必要になった場合に最低限準備しておきたい非常持出品について確認しましょう。

家庭内備蓄

飲食料品 ①常温保存ができる ②賞味期限がある程度長いもの

水や食料、最低でもこれだけは備えておきましょう

水

1人1日1ℓの飲料水が必要です。調理等に使用する水を含めると、3ℓ程度あれば安心です。



米

2kgの米は、1食=0.5合(75g)として27食分になります。



缶詰・レトルト食品

数日間食べても飽きがこないよう栄養のバランスも考えて備えておきましょう。



その他

アルファ米、乾燥麺、カップ麺やチョコレートなどカロリーの高い菓子、梅干や漬物、味噌やしょう油などの調味料 など



生活用品 家族構成や自分の健康状態に合わせて備蓄しよう!

高齢者

- おむつ
- 常備薬
- 補聴器

目の悪い方

- メガネ
- コンタクト

乳幼児

- 粉ミルク
- おむつ
- ほ乳びん
- 離乳食
- 体ふき

ペット

- ゲージ
- 常備薬
- リード

その他

女性には生理用品、アレルギーのある方には自分に合った食べ物や薬など。停電に備えて懐中電灯や予備電池の備蓄もお忘れなく。

簡単に備蓄できる! 循環備蓄(ローリングストック法)

普段購入している食料品等を「多めに買い置き」するだけで立派な備蓄になります。



簡易トイレが大切!!

災害時は断水や下水管の破損でトイレに水が流せなくなることが想定されます。簡易トイレや携帯トイレを準備しておきましょう! ビニール袋を2~3重にして吸水用に新聞紙や紙おむつを入れれば簡易トイレになります。便座や段ボールにかぶせて使用します。



ポイントはカセットコンロの準備です!

カセットコンロを備えておけば簡単な炊飯や調理ができます。ボンベを多めに用意しておくことも必要です(1日分で1~2本)



非常持出品

避難する際の持ち物チェック!

- 着替え・生活用品
- 非常食(三日分)
- 水
- 携帯電話
- スリッパ
- 育児・介護用品
- 薬
- 懐中電灯
- レジャーシート、マット
- ラジオ
- 電池
- モバイルバッテリー・充電器
- 電源タップ
- 健康保険証
- 身分証明書

〈感染症対策に使用する衛生用品等〉

- 体温計
- マスク
- 消毒液
- タオル
- ウエットティッシュ
- ビニール袋

※いつでも避難できるように日頃から準備をしておきましょう!

すぐに持ち出せるようにリュックに持出品を入れて玄関に置いておくぴん★



3 台風・大雨が迫ってきたら

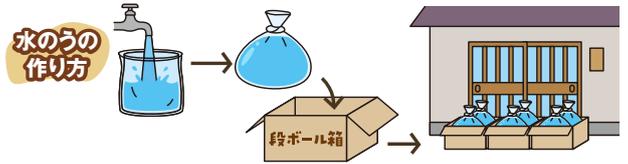
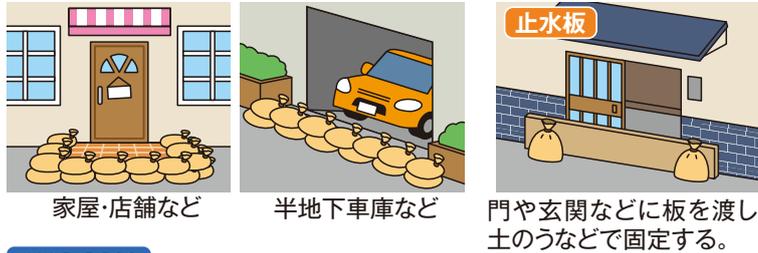


ステップ① 家屋の浸水・暴風対策

浸水防止対策には、土のうや水のうが効果的です。区内には土のう置き場が26か所あります。土のうの利用にあたっては、連絡等は不要ですので、ご自宅等の浸水対策にご活用ください。
六郷地区の土のう置き場：西六郷三丁目公園（西六郷三丁目16番16号）



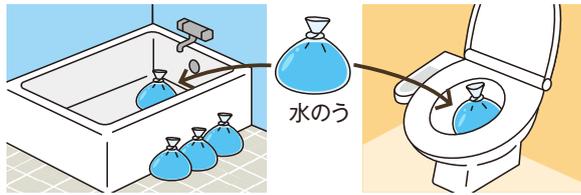
土のう・止水板・簡易水のう



簡易水のうは、身近にあるもの（段ボールやビニール袋）を使って作ることができます。

- ① ビニール袋（ゴミ袋）を二重にし、水を入れます。（持ち運べる程度）
- ② ①を段ボール箱に入れ、出入り口などの水の侵入部にすき間なく並べます。

逆流対策



お風呂場の排水口、トイレなどから下水が逆流する恐れがあります。水のうで排水口をふさぎ、逆流を防ぎましょう。

暴風対策

- 窓ガラスに雨戸やシャッターがあれば閉める
- 庭やベランダに次のような物があれば家の中に取り込む
ゴミ箱／物干し竿／傘／ほうきやちりとり／植木鉢 など
- 建てつけの悪い網戸は、はずして家の中に入れておく

窓ガラスが割れるのを防ぐのではなく、ガラスが割れた場合に破片が拡散しない対策です。カーテンも閉めましょう！

雨戸やシャッターがない場合は？

- 防犯フィルムや飛散防止フィルムを貼る
- 窓ガラスの縦・横・斜めに養生テープやガムテープを貼る
段ボールをガラスに当ててからテープを貼ると効果的です。



ステップ② 防災情報の収集

風水害が起きる前に、気象等の災害情報の収集方法を確認しておきましょう。大田区や関係機関では、ホームページで情報を提供しています。豪雨や台風が起きる兆しがあれば、テレビやラジオ等で最新の気象情報を確認しましょう。

大田区からの情報収集

大田区ホームページ

トップページに災害情報が発信されます。また、防災に役立つ情報も紹介されています。

<https://www.city.ota.tokyo.jp>



区民安全・安心メールサービス

あらかじめ登録されたメールアドレスに、防災情報、気象情報、地震情報、水防情報、防災行政無線の放送内容を配信しています。



登録方法

以下のアドレスに空メールを送信してください。
kumin@anzen.city.ota.tokyo.jp



是非登録をお願いします
びん★

大田区公式Twitter

区内の各種情報を発信しています。Twitterの検索画面から「大田区」を検索してフォローしてください。アカウント@city_ota



防災行政無線

災害情報等を伝達する手段として区内各所に設置されています。放送直後から内容を電話で確認することができます。

防災行政無線電話応答サービス
0180-993-993 (有料)

避難勧告などをサイレンでお知らせします

避難勧告または避難指示を発令する際に、放送塔から、サイレンを鳴らしてお知らせします。サイレンが聞こえたら、避難対象地域や避難所の開設状況などの情報を収集し、落ち着いて避難行動をとりましょう。



サイレン放送パターン

※2回繰り返し
サイレン吹鳴 30秒
アナウンス

大田区LINE公式アカウント

災害時の緊急情報など、区からの大切なお知らせを発信しています。

登録方法

スマートフォンなどのLINEアプリを起動してメニューの「ホーム」から「大田区」または「@otacity」と入力して検索してください。



関係機関からの情報収集

テレビ (dボタン※NHK総合テレビのデータ放送)

天気予報や防災情報を、デジタル放送 (dボタン) で確認できます。雨の情報や警報などの発表状況、大田区が発令した避難勧告等の避難情報を文字情報として確認することができます。



NHK総合のみ

画像はイメージです。



◆国土交通省「川の防災情報」

多摩川の水位情報やライブ画像を確認できます。

◆気象庁HP

最新の気象情報や今後の推移などのほか、洪水や土砂災害の危険度なども確認できます。



◆東京都水防災総合情報システム

呑川の水位情報や雨量グラフなどが確認できます。

4 いざ避難が必要になったら

ステップ① 覚えておこう! 警戒レベルと避難のタイミング

「警戒レベル」は、災害発生危険度が高くなるほど、数字が大きくなります。自分のいる地域が対象となった場合に適切な行動がとれるよう、内容を理解しておきましょう。

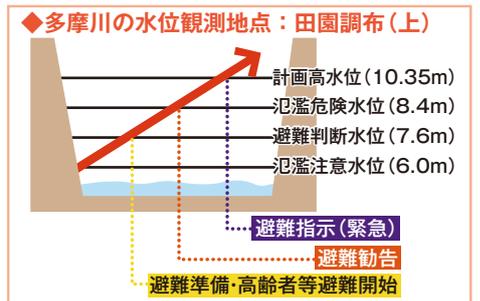
警戒レベル 1 早期注意情報 今後の雨量、台風の進路などの情報収集を始める	警戒レベル 2 洪水注意報・大雨注意報など 災害が想定されている区域や避難先、避難経路をハザードマップで確認	警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始 高齢者・要介護者などは避難、ほかの人は避難準備 自宅が安全な方は、無理に移動する必要はありません。	警戒レベル 4 ①避難勧告 ②避難指示(緊急) 全員が安全な場所へ避難	警戒レベル 5 災害発生情報 命を守る最善の行動 すでに災害が発生
---	--	--	---	--

ステップ② 区が避難勧告等を出すタイミングを知る

区が避難勧告などを出すタイミングは、多摩川の田園調布(上)水位観測地点の水位基準などを目安にしています。多摩川の水位情報は皆様もインターネットで調べることができますので台風や大雨の際は自ら情報を収集し、早めの避難行動を取るようにしましょう。



川の防災情報で自分で調べることも可能



ステップ③ 自宅以外の場所に避難するときの注意点 早め早めの行動を心掛けましょう!

避難するタイミング ① 明るいうちに ② 公共交通機関が動いているうちに ③ 暴風になる前に

親戚や知人宅に避難する場合

まずは、避難先に水害リスクがないか避難先の自治体のハザードマップで確認

■公共交通機関(電車・バス)で避難する場合

→計画運休等の情報に注意する。

■やむを得ず自家用車で避難する場合

- ①風・雨が強まる前に避難する。
- ②アンダーパス(地下道)の冠水に注意する。

自家用車で避難する場合は風・雨が強まる前に避難しましょう。また、アンダーパスで水の深みにはまるとエンジンが停止し、ドアや窓が開けられず脱出できなくなる可能性があります。アンダーパスは避けて避難しましょう。また、万が一に備え、脱出用に窓ガラスを割るハンマーを車に常備しておくことも検討しましょう。



緊急時はガラスを割って脱出

※車中泊をする場合は、駐車場所の安全性の確認やエコミークラス症候群等の健康面に十分注意しましょう。

水害時緊急避難場所に避難する場合

まずは、区のホームページなどで開設の有無を確認

■水害時緊急避難場所のルール

- ・ 飲食料、生活用品、感染症対策用品は持参しましょう。
- ・ 車での避難は原則できません。
- ・ ペットと一緒に避難される場合は、必ずゲージ等を持参し、決められた場所での飼育をお願いします。
- ・ 受付での体温チェック、うがい、手洗い、避難者同士の間隔を空ける等感染症対策にご協力をお願いします。
- ・ 避難場所の運営は区と地域の皆様協力して行います。避難者同士の助け合いにご協力をお願いします

万が一、自宅が浸水してしまった場合…。生活再建に向けた第一歩(り災証明書の発行)

災害で自宅が浸水するなどの被害にあった場合、生活再建に向けてまず行うのが「り災証明書」の発行です。り災証明書とは、災害により被害を受けたことを公的に証明するもので、各種支援金や税金の減免などを受けるときに必要になる書類です。

り災証明書発行までの流れ	① り災証明発行申請…住所を管轄する特別出張所で申請をします。 ② 住家被害認定調査…区の職員が被災した家の「被害の程度」を認定するため調査を行います。 ③ り災証明書の発行…調査結果をもとにり災証明書を発行します。
---------------------	--

このチラシを玄関口や冷蔵庫など見やすい場所に貼って風水害に備えよう☆



発行 大田区総務部防災危機管理課
 〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
 電話 03-5744-1611 FAX 03-5744-1519